

「脚下照顧」

『西遊記と世界的登山家とカズ』の関係



皆さん、新年会お疲れ様でした。今年はさしたる問題なく無事終了することができ、胸を撫で下ろしているところで

す。昨年は突如理性を喪失したピョンピョン猿が酔い酔いの翁に飛びかかり、転倒大惨事、大慌て、一昨年は朝起きてみると部屋の壁に大きな穴がぼっかり...、無念の散財、涙の帰り道って感じでした。

西遊記に出てくる孫悟空が頭に着けられている金剛輪がパーティーグッズで売っていたら絶対に買いたいと何度思ったことか！理性を喪失しておサル化した瞬間に三蔵法師のお経を唱えつつりモコンで金剛輪を締め付けるという優れものパーティーグッズ！！

誰かおもちゃメーカーに知り合いいませんか？開発したら絶対バカ売れ間違いなしだと思います。

西遊記といえば今はSMAPの香取慎吾が演じて人気を博していますが、自分たちの世代では何と言っても夏目雅子、堺正章、西田敏行、岸部シローのゴールデンキャストにゴダイゴの演奏する『ガンダーラ』が忘れられません。皆さんはこの西遊記という物語を単なる空想物語とお考えでしょうか？私は一人の人間の意識の成長の物語とらえています。人の性格というものとは決して一面的ではなく、三蔵法師のように崇高な精神の持ち主でも必ずどこかに猪八戒のようなむさぼりの心を持ち、沙悟浄のような利己的な心を持ち、孫悟空のような怒りの気持ちを持っていると思います。

それでもこの三蔵法師の素晴らしいところは、必ずしや天竺から経典を持ち帰って人々を救いたいという高い理想を持っていたことと、むさぼりや怒りの気持ちが湧き上がってきても理性という金剛輪を締め付けることによって節度を保ち、誘惑に打ち勝ち目的を遂げたところではないでしょうか？

やはり人生の成功の秘訣は誘惑に負けない強くて清らかな理性の力なのかもしれません。

なーんて話をするとお酒と誘惑大好きなピョンピョン系軍団の方たちから『ちえ、つまんねえ話してんな〜』と疎まれてしまいそうですが、大丈夫です。

テクア技研の人事理念は『人間万歳！！』ですから、これからいい話します。

野口健さんです。世界7大陸の最高峰登頂を弱冠26歳で成し遂げた世界的登山家です。今までに何度も命の危険に晒された経験を持ちながら、テレビに出演している時はいつも飄々とした表情とトークでお茶の間を沸かせています。今では富士山やエベレストにわざわざ他の登山家が捨てたごみを拾いに行ったり、小中学生を対象にして環境学校を開校したりと、かなりの厭離穢土、欣求浄土(荒みを取り除いて、住みよい世の中を創る！)な人です。

その野口健さんが言っていたことですが、ヒマラヤに登るときには必ず女性用の香水の小瓶をポケットに入れておられるらしいのです。何故かという、登山家という種類の人間は苦難があればあるほどどんどんそれに挑戦していきたくなくなり、気が付いたころには悪天候だろうが吹雪だろうが、何が何でも頂上を目指そうとしている視野が狭く判断力を失っている自分がいるらしいのです。そんな時、ちょっと待てよと、香水を取り出してククンすると、ホッと肩の力が抜け『野口、帰ってらっしゃいよ！』という声が耳の奥で聞こえてくるらしいのです。絶体絶命の危機からの生還を女性用香水によって何度も果たしたということです。

つまり『人生は理性に救われ、誘惑にも救われる』といったところでしょうか？どうです？いい話でしょ？え、もっといい話ききたい？もうネタ切れですが、サッカーの話ならいくらでもできますよ。ついに横浜FCがJ1入りを果たしました！

監督があのアジアの大砲と呼ばれた高木監督でFWにはななんと三浦カズがいます。

カズの一番好きな言葉知ってます？元ボクシングヘビー級チャンピオンのモハメッド・アリの有名な言葉『蝶のように舞い 蜂のように刺す！』です。ピョンピョン系軍団の方たち用に解説いたしますと、『ふらふらしとつても 決めるときは決めろよ！』です。

ガンダーラ(理想的安全作業)への道は長く厳しい。『人間万歳！』と元気に叫びながら歩いて行きたいものです。



感謝！ 羽原篤史

